第１回尾張旭市総合計画審議会（第２部会）　会議録

１　開催日時

令和５年７月７日（金）　午後１時３０分から３時まで

２　開催場所

尾張旭市役所南庁舎３階３０２会議室

３　出席委員

朝見　政広、荒谷　弘美、伊藤　雅一、鈴木　厚子　　　　４名

４　欠席委員

杉本　祐也　　　　１名

５　傍聴者数

０名

６　出席した事務局職員等

企画部長　松原　芳宣、企画課長　谷口　洋祐、政策企画係長　田中　広樹、
総合調整係長　林　孝、政策企画係主査　北川　歩、
インターンシップ実習生、
三菱ＵＦＪリサーチ＆コンサルティング㈱名古屋（ＭＵＲＣ）　吉田　夏稀

７　議題等

⑴　基本目標３及びその施策に関する調査審議

⑵　基本目標４及びその施策に関する調査審議（時間の都合により次回部会で審議する）

会議の要旨

企画部長	本日は、大変お忙しい中、お集まりいただきまして誠にありがとうございます。 ただいまから、尾張旭市総合計画審議会第２部会の第１回目の部会を開催させていただきます。 開催に先立ちまして、本日、杉本委員からは事前に欠席の旨の連絡をいただいております。 本日は企画課の職員のほかに、本市の総合計画の策定を支援していただいている三菱ＵＦＪリサーチ＆コンサルティング株式会社名古屋の吉田様にも同席いただいております。 また、市企画課で現在インターンシップ実習を行っております学生も同席させていただきますのでよろしくお願いします。 それでは以降の進行の方、伊藤部会長にお願いいたします。

伊藤部会長	本日は、御多用の中、第１回部会にお集まりいただきまして、誠にありがとうございました。 これまでに全体会を２回開催して、策定の経緯であるとか背景、それから基本構想について議論をしてきました。今回からは、まちづくりの各分野の個別審議事項となります。当部会については御案内のように、都市整備、環境、教育分野となりますので、よろしくお願いします。 また、本日からの個別の議論を踏まえまして、基本構想にフィードバックしていく部分もあるかと思いますので、その点も含めて御意見をいただければと思います。 本日の会議につきましては、御手元に配布しております次第に沿って進めさせていただきます。部会となりますので、肩ひじ張らずにディスカッションできればと思いますので、どうぞよろしくお願いします。 それでは、議事に入ります前に、次第の１－⑵として、部会の審議範囲と今後の進め方について確認をしておきたいと思いますので、企画課から説明をお願いします。
政策企画係長	（部会資料１－１　部会についてに基づき説明）
伊藤部会長	ただいま、第２回の全体会で説明のありました部会の審議範囲等や具体的な進め方の説明がありました。 各委員の御異論がなければ、企画課から説明がありました内容で進めていきたいと思いますがいかがでしょうか。
	（意見なし）
伊藤部会長	それでは御異論がないようですので、これより次第の２の議事に入ります。 本日は、基本目標３と４について審議を行います。 まず、基本目標３、教育・生涯学習の分野の審議を進めます。 初めに企画課から主要な部分の説明を受け、その後、皆様からお気づきの点など御意見をいただく形で審議を進めていきます。それでは説明をお願いします。
政策企画係長	（部会資料３　施策別指針（素案）１８ページから２５ページまで、資料８　基本構想（素案）５ページ上段に基づき、基本目標３及びその施策について説明）
伊藤部会長	それでは、ただいま説明のあった部分について、施策ごとにお気づきの点や御質問、御意見、御提案等をいただきたいと思います。その後、基本目標についても同様に御意見をお伺いしていきたいと思います。 まず、部会資料の施策別指針の１８ページ、１９ページ

	の施策３－１「主体的に学ぶ教育の推進」について、御発言をお願いします。 　お気づきの点や内容の確認等、何でも結構です。
鈴木委員	「現状と課題」の一つ目の３行目に「食生活などの生活習慣の乱れを改善することのほか」や、「主な取組」の３－１－１「豊かな心と健やかな体の育成」で食習慣の改善を図るとなっています。最初から食生活が乱れていることが前提になっているような気がします。もちろん、乱れている家庭もあるだろうし、ちゃんとしている家庭もあると思います。乱れていることが前提になっていることに、違和感がありました。
企画課長	「現状と課題」では、乱れていることが前提と捉えられる記載となっていますので、御指摘を踏まえて、表現の修正を検討させていただきます。
鈴木委員	食生活の充実や食生活を作っていくなど、少し肯定的な言葉を選んでいただければと思います。
伊藤部会長	ありがとうございます。他にいかがでしょうか。
荒谷委員	基準値と目標値がございますが、この目標値は令和１５年と１０年後のものになっています。１０年後となると尾張旭市の状況も変わっていると思いますし、人口も違ってきますが、これは必要なのでしょうか。
企画課長	１９ページの指標を御覧いただきますと、基準値として計画策定段階における最新の数値と、それから１０年後の目標値と、２段の書き方となっています。確かに１０年と申しますと、現在の変化の激しい中においては、なかなか先行きが見通せないところではございます。しかし、総合計画で言いますと、いわゆる１０年後の「めざす姿」を記載しているため、基準値に加え、取り組んでいく上でどれくらいの数字を目指していくのかということを、目標値として掲載していきたいと考えております。 　なお、この施策別指針は、必要に応じて中間年次に見直しを行うことを考えております。指標そのものを見直すことや目標値が妥当な数値であるのかなど見直しを行うことを予定しております。
伊藤部会長	他には、いかがでしょうか。
鈴木委員	指標について、３－１－２「課題解決に向け、自ら考え取り組んでいる児童生徒の割合」となっています。他の指標はアンケートを取るものや数字が基本的に出てくるものを設定していると思います。この指標はこれまでも取得し

	てきたものでしょうか。この項目は、どのように集計していくのでしょうか。
政策企画係長	この指標につきましては、全校で教育に関するアンケート調査を行っており、１つ上の指標に「学校へ行くのが楽しいと感じる児童生徒の割合」がありますが、これと同様に、生徒たちへのアンケート調査を集計していくことを予定しています。
鈴木委員	そのような自主申告的な質問事項があるということでしょうか。
政策企画係長	そのとおりです。直近の結果を担当課から聞いておりまして、３－１－２「自ら考え取り組んでいる児童生徒の割合」で、取り組んでいるとお答えいただいた生徒は、令和３年で７８％、令和４年で７４％でした。したがいまして目標値としては、もう少し上の数字を目指していくものと考えております。
伊藤部会長	ありがとうございます。他にいかがでしょうか。
伊藤部会長	内容的なことではなく、各施策の構成ですが、最初に「めざす姿」があり、「主な取組」、「市民・地域等の取組」、「現状と課題」、「指標」といった順番になっております。最初に「めざす姿」が出てくることは、バックキャストの計画づくりとしていることで良いかと思いますが、今御説明があったように「めざす姿」があって、その姿に対して現実はギャップがあるので、ちゃんと現状と課題を整理した上で主な取組につながるのではないかと思います。そうすると、文章の構成そのものが、まずは、「めざす姿」があって、これに対しての「現状と課題」があって、その課題解決のための「主な取組」があるといった順序の方が理解しやすいし、見やすい気がするので、今どうするではなく全体の話となりますので、総合計画を見た人が理解できるような構成の仕方なのかどうかを検討してほしいことが１点です。 もう１点は、「主な取組」は、行政が取り組むことかと思いますが、その下に「市民・地域等の取組」ということで、市民・地域に期待することと、もう一つは、行政と連携して、公私協働して取り組んでいかなければ課題が解決できない分野もあるかと思います。そうした意味では、主な取組と市民・地域等の取組のところの関連性が結構ある分野とない分野があるので、その辺りを少し確認してほしいと思います。

	行政が取り組む内容と、市民・地域が取り組む内容が合わさって、この指標の達成が見込める。施策３－１の指標において、「自ら考え取り組んでいる児童生徒の割合」であるとか、行政だけで達成できるものではなく、学校が教育を通じて、児童生徒を育てていくことになり、子どもたちが、どのような学びをするのかなどの部分が、非常に重要になってくると思います。行政による主な取組と市民・地域等の取組の関連性が、もう少し理解できる形で確認をしていただけると良いかと思います。 この１８ページと１９ページの中で、目標と呼べるものは、指標の部分になるかと思います。あとは、理念的な内容なので、どこが到達点なのか分からない。そうした意味で、この指標は非常に重要になりますので、実際に数字が入る時に、基準値はどうで、目標値がどうなって、その目標値の設定が「めざす姿」に近づいているのかどうかが、市民の方々に理解できないといけないと思います。全体の構成の仕方として、今回新しい計画の作り方になっているようですので、御検討いただければと思います。
企画課長	１項目目の、全体の構成で「現状と課題」を右側のページとしていることにつきまして、別の部会でも、同様の御指摘を頂戴したところです。実は、第五次総合計画は、部会長が御発言されたような構成になっておりました。まず、「現状と課題」があり、その後に「めざす姿」があって、右側のページに今回で言う「主な取組」が整理されているとの構成としておりました。第六次総合計画では、他の自治体の計画の作り方などを参考とする中で、「現状と課題」の部分を割愛するなど、市民の皆様にまず行政が何を行うのか、市民や地域の方々に期待することが何なのかを、しっかりと見せていくような構成とする自治体が増えていることを踏まえ、これまでの計画と構成を変えているところです。 その結果として、「現状と課題」が右側にあって、検討順序と異なる構成になっています。関連があります右側と左側がつながりづらいといったようなところもありましたので、先日の部会では、例えば右側のページに左側の「主な取組」に対応する番号を表記するなどの配慮をしてはどうかとの御意見もいただいております。 この構成について、全体を通して再検討させていただきます。

伊藤部会長	その他、何かございますか。
朝見委員	部会長と同じ意見となりますが、「めざす姿」と現状のギャップが課題であることには同感です。 「主な取組」が２番目にあることは、やることを決めてスタートしているので、そこの分析をしっかりとした取組となっているのかが分からないと思います。 「指標」は、これを達成したら「めざす姿」になるものですので、「主な取組」の前に「めざす姿」の必要十分条件として指標があるべきで、これも左側のページになるのではないかと考えました。こうした時に、取組をすることにより、何がどうなるのかとのように、取組の指標となってしまっていて、この取組をやると「めざす姿」が実現できる指標との順番になっていないので、構成は重要な御指摘であると思いました。 「主な取組」がやれた指標にはなっているかと思います。でも、その取組がやれたら「めざす姿」になったのかまでの確認にはなっていません。他のページは案外なっていると思いますが、施策３－１に関しては、決めたことをやったら「めざす姿」を達成できたかという指標になっていない。「めざす姿」が簡潔過ぎで、現状と同じくらいボリュームがないと、ギャップを出せないはずなので、一行対このボリュームということに違和感があります。 「めざす姿」の映像化というか描写が足りなくて、やることメインの取組になっていないかと思います。
伊藤部会長	ありがとうございます。その辺りの構成も含めて、企画課から何かありますか。
企画課長	「めざす姿」が理念的で、なるべく分かりやすいといったことを検討していく中で、今回市民の皆様に、この施策３－１「主体的に学ぶ教育の推進」で何を目指していくのかで、文書量が多すぎると、却って伝わらなくなるという意見もあるため、全ての施策を通じて、かなりシンプルな表現で、この「めざす姿」を表記しようと努力をしてきたところでございます。この「めざす姿」を実現するための指標として設定すると、理念的な部分になりますので、市民アンケートで取得する指標などとなります。これまで、第四次総合計画、第五次総合計画では、指標をロジカルに目標管理型で、市民アンケートを２年に１回取って、市民の満足度ですとか、例えば施策の３－１ですと、豊かな心と健やかな体が育まれているかとか、確かな学力が育成で

	きていると思うかとか、そのようなことが、直接の指標値になるような建付けで、これまでの行政経営を進めてまいりました。しかし、数字を追っていても具体の取組に結び付きづらいということが、ここ１０年、２０年くらいの行政としての課題でございます。 そうした中では、第六次総合計画では、より具体な「主な取組」を掲載し、毎年策定します実施計画で、より実際の取組に近い形でお示しすることを考えております。朝見委員のおっしゃったような形、この施策全体の目標を実測するような指標になりづらいと、あらためて認識いたしました。
朝見委員	どのようにすれば良いのかというと、提案ができないので難しいと思います。
企画部長	本当に、今おっしゃったところが、本質的な部分になるのかと思います。今回総合計画を策定するに当たりましては、できる限り分かりやすい表現で、市民に伝わりやすくという部分と、お互いに共有できることにかなり重点を置いてまいりました。そのため、「現状や課題」はもちろん、行政側はしっかりと把握して進めていくところではございますが、できるだけ端的に分かりやすい形で「めざす姿」を表現し、それと行政と市民と連携して、一緒に取り組む事業をまずは先んじてお示ししております。総合計画ですので、記載されていることが全てではなく、全体のイメージが湧くようなもの方向性を示すものとなります。分野ごとに個別の計画がこの下に付いてきますので、そこの中では、しっかりと細かなところまで記載していくという構成となります。今回の総合計画は、これまでの計画よりも少なめのボリュームの中で、なるべく分かりやすくということに主眼を置いております。若干これまでとは建付けですとか、イメージが変わっておりますが、皆様の御意見も頂戴しましたので、市で再度内容も含めて確認等させていただきます。
伊藤部会長	端的に分かりやすいですとか、シンプルに理念的な目標設定ということで、特に施策３－１の「めざす姿」で「豊かな心と健やかな体を育み、確かな学力を育成」と書いてありますが、主な取組を単純に見ていくと、関連する項目は上２つだけとなります。理念的な表現で難しいですが、せっかく「主な取組」が５つあるのであれば、全てが包含されるような「めざす姿」である方が良いのではないでし

	ょうか。この「めざす姿」を実現する時に、表現上、上２つは実現できます。下の３つは、あまり重視しない取組なのかということにもなりますので、表現的には難しく、工夫のしどころですけれども、端的に分かりやすいということ自体は理解できますので、少し表現を工夫していただけると良いかと思います。 　他に、３－１はよろしいでしょうか。
荒谷委員	先ほどの最初の説明で、「現状と課題」の後に、「主な取組」を説明されていました。これを一般市民の方が分かるのかなと思います。先ほど番号でつながりを持たせるといった話もありましたが、それでも分からないのではないかと思います。例えば、クエスチョンに対して、アンサーはこうですと、何々に対してはどうなのか、それはどうですよといった記載の方が、一般市民には分かりやすいかと思います。
伊藤部会長	今の御発言を含めて、検討していただければと思います。 　「主な取組」の前に「現状と課題」が入り、このような現状と課題だから、このような取組を進めますと、これがセットになっていれば、読んでいても分かりやすいと思います。いろいろな構成の仕方がありますので、必ずしもそうして欲しいというものではありません。多分、番号を紐づけて、左右を確認することは見づらいとのことかと思います。一度、御検討ください。 　その他、何かございますか。
朝見委員	「指標」について質問ですが、目標なので間接的にコントロールするものであるかと思います。配置人数などは人を配置すれば終わる手段のようなものである気がして、そこのレベル感は議論されているのでしょうか。
企画課長	「指標」の目標部分につきましては、これから議論を進めるところですが、こうした目標値を定めていくに当たっては、この分野にどれくらい注力していくか、それは財源的にも人材的にも、そうしたところを含めて考えていく必要があるかと思います。 　こうした学校支援の人材を、まずは配置することが重要だという課題認識があり、この人数をこれぐらいの規模にしていきたいといったものを立てていってはどうかということを検討しています。
政策企画係長	少し補足させていただきます。

	現計画の指標設定が、アンケート調査で満足度などを計るような指標が多くなっています。アンケート調査は、皆様の御意見を伺うために非常に良い手法ですが、社会事情や災害などの影響により、かなり数字が上下してしまうといった特性があります。できる限り、今回はそのようなことがないように、例えば、会議への参加が何人あって、その方たちが何人資格を取得できたのかなどのアウトカム指標を設定できればと考えています。各課と相談しながら決めていってはいますが、ただ、不足する部分もあるかと思いますので、このような指標を取ったら分かりやすいのではないかなど、御提案等があれば教えていただけると助かります。
伊藤部会長	私の意見としましては、「主な取組」を行政が中心に進めますので、「主な取組」に関する「指標」はアウトプット、事業実績で評価をする。「主な取組」に関連して「市民・地域等の取組」があって、これは公私協働となりますが、公私協働の「指標」がアウトカム、その事業の社会的効果と言いましょうか、アンケートで取る項目であると一番分かりやすいと思います。市民から見た時に、「主な取組」がどこまで進みましたかという時には、事業の実施効果の方が、分かりやすいですが、事業を実施したから、市民の生活が豊かになる、あるいは課題が改善できる訳ではないので、やはり社会効果としてのアウトカム指標は非常に重要となります。それはアンケートで取る必要がありますが、それは公私協働の部分、行政と市民が力を合わせてやった社会的な効果として、このような結果が得られたということで、「指標」に示すことができるかと思います。市民だけがやっている事は、行政は把握できないかと思います。一つ一つに当てはめる事はできないかと思いますので、一つの検討の参考にしていただければと思います。
企画課長	皆様に、お伺いします。 「現状と課題」の表記方法については、私ども悩みまして、これまでも二転三転して今日に至っています。先ほど他の自治体の事例では、「現状と課題」の部分は、バックデータとして、こうした紙面上には載せずに、例えば参考資料としているところもあります。なるべくシンプルに行政がやれる部分や、その目標の部分を構成に載せていくと、先ほどから御指摘いただいております「めざす姿」と現状のギャップが紙面上見えなくなるところはあります

	が、シンプルな表現という意味では、やることだけを載せた総合計画という事も極論としてない訳ではありません。どんな形にしても「現状と課題」は大事な部分なので、載せた方が良いのかというところもありつつ、少し御意見をお伺いできればと思います。
伊藤部会長	計画づくりの一つの意義は、ギャップを明確にすることですので、そうした意味では、「現状と課題」は非常に重要であると思います。今回の総合計画の計画期間は１０年ですが、２０年、３０年の計画期間を持つ総合計画もあります。そのような総合計画では、２０年後、３０年後のことは分からないため、「現状と課題」はあまり書かず、より大きな時代の流れだけを捉えて、何をやっていくのかを検討することとなり、そのような目的での計画策定となります。１０年くらいのスパンであればギャップを示していくこと自体が、課題を解決する糸口になりますので、私自身は重要だと思います。他の委員の方はいかがですか。
朝見委員	計画を立てる上では、必要な情報であると思いますが、市民に分かりづらくなるのであれば、削除することもあり得るのではないでしょうか。 ただし、この「指標」に対してオペレーションしていく各課各係の人たちは、当然知っておかないといけませんので、市民との間のオペレーションする市の職員の事が抜けているので、そこに対して抜いてしてしまうのは問題かと思います。いつもの仕事を普通にやれば良いとなるかもしれませんので、別の形で丁寧に説明し続けるのであれば、抜くことでも良いかと思います。
鈴木委員	「現状と課題」とありますが、基本的には課題だけが書いてあるので、特に現状は不要なのではないでしょうか。市民としては、課題が書いてあれば良いかと思います。
荒谷委員	指標という言葉について、基準値と目標値が設定されているため、指針を追加して指標指針としてはどうかと思います。
企画課長	少し言葉の使い方で、この「指標」とは何なのかというところは、このページの前に解説は加えようとは思っていますが、他の計画書などを参考に、より分かりやすい表現を検討したいと思います。
朝見委員	前回、第五次総合計画をいただいていますが、このような構成となるのか、会議資料のとおり清書されるのでしょうか。第五次総合計画は、目標値等がしっかりと書いてあ

	り、指標として分かりやすい表現であると思います。
政策企画係長	構成レイアウトにつきましては、これから形にしていくこととなります。
伊藤部会長	今の御意見を踏まえて、また他の部会もありますので、少し整理していただければと思います。 施策３－１の議論が長くなってしまいましたが、内容について、何かありますでしょうか。
鈴木委員	皆様の意見を聞いているうちに、施策３－１の主体的に学ぶ教育と、下の「めざす姿」、「指標」が、すごくチグハグに感じました。「指標」をどんなに頑張っても「めざす姿」の健やかな体の部分には関連しません。「施策」の「主体的に学ぶ」と「めざす姿」の「確かな学力」の部分部分が「指標」とつながっていて、「施策」と「めざす姿」はつながっていないような、チグハグな感じがします。「指標」の「学校へ行くのが楽しい」といったところは、比較的「めざす姿」の「豊かな心」につながっているのかと思いますが、指標に出てくるのは、主に「施策」の「主体的に学ぶ」と「めざす姿」の「確かな学力」のことだけであって、「めざす姿」として豊かな心と健やかな体と言っている割には、「指標」には出していないのではないかと思います。
伊藤部会長	なかなか難しいところかと思います。理念的な表現との言葉の範囲があるので、きちっと捉えていくとフィット感がないことが出てきます。確かにこの３つの流れは、そこまで良くないかと思います。
鈴木委員	施策３－２以降を見ると、ほぼ「めざす姿」と「指標」がつながっているかと思いますが、施策３－１に関しては、「主な取組」に健やかな体として、アレルギーのことが出てくるぐらいで、「めざす姿」は、それほど重視されていないと感じます。
政策企画係長	第五次総合計画では、教育の分野で６つ施策に分かれていたものを、第六次総合計画では４つに集約をしています。そういったところから集約しきれていない部分があるのではないかと、思いますので、担当課を含めて検討させていただきます。
鈴木委員	確かに、第五次総合計画を見ると豊かな心に対して、基本事業で道徳や健康教育が出てきますので、つながりのある内容となっていますが、今回に関しては、それがつながっていないように思われます。

伊藤部会長	教育の内容ですので、教育委員会とよく相談してください。それでは施策３－１について、よろしいでしょうか。
伊藤部会長	続きまして、２０ページ、２１ページの施策３－２「総合的な教育連携・協働の推進」についての御意見、御発言をお願いします。
伊藤部会長	コミュニティ・スクールの活動の中に、「主な取組」の２つ目の講座や教室の開催とか、３つ目のイベントやボランティアへの参加や講座・研修などの企画運営の充実などは、含まれているのでしょうか。なぜなら市民・地域等の取組でコミュニティ・スクール活動が書いてありますが、講座に参加するとか、ボランティア活動に参加するとかが書いていない中で、指標にはそれが出てくるので、この辺りのつじつまがあっていないかと思います。当然、主な取組で講座を開催する、充実すると書いてあれば、そこに市民や地域の方が参加してきて、指標としては、参加者数が増えたなどの流れかと思いますが、「市民・地域等の取組」が「主な取組」と関連付けができていないような気もしますので、御検討いただければと思います。
企画課長	検討させていただきます。「市民・地域等の取組」は、今回新設した項目となりますが、もとは市民ワークショップで出された意見などを掲載しておりますので、必ずしも網羅的な表現となっておりません。そうした視点で主な取組や指標の関連を含めて検討したいと思います。
伊藤部会長	市民ワークショップから出てきたということは、ワークショップに参加した市民の皆様の想いは、ここに入っているとの理解でよろしいですか。
企画課長	なるべく入れるように考えております。
鈴木委員	課題の中で「家庭内では相談しにくいことを、情報交換や相談できる場の提供」と書いてあり、情報交換できることはすごく大事だと思いますが、市民の中には自分ではどうしようもないことをつないでもらいたいという方もいます。連携するのであれば、専門機関までつなげてほしいと思います。どうすれば相談窓口につながるのか分からないことが多いので、地域との連携の中に専門機関への連携を入れてほしいと思いました。発達障がいやアレルギー、不登校など、自分たちで議論しても仕方のない部分があるので、いかに専門機関につながっていくのか、その辺りの連携を考えていただきたいと思いました。
伊藤部会長	それでは、御意見を踏まえて検討していただければと思

	います。その他は、いかがでしょうか。
伊藤部会長	それでは続きまして、２２ページ、２３ページの施策３－３「生涯学び続ける教育の推進」について、御意見をいただきたいと思います。いかがでしょうか。
朝見委員	主な取組の３－３－２「生涯学習施設の環境整備」ですが、環境を整備して公民館の利用者数や図書館の来館者数につなげていくことかと思います。もともと基本構想では、インフラは十分に整った上で、そこを活用する人たちの心に着目しているとすると、ここは環境整備を行政が支援するよりもソフトを支援する方が良いのではないでしょうか。当然、老朽化は対応するかと思いますが、それ以外のハードかソフトの支援のいずれかを選ぶとなると、ソフトかなと思います。
企画課長	施策３－２で言いますと、主な取組の３－３－２「生涯学習施設の環境整備」は、ハード面での取組でございます。いわゆる公民館の講座ですとか、図書館の様々な取組のソフト面の部分については、３－３－１「生涯学習活動の推進」という、やや広めの言葉の中にソフト事業が含まれております。ソフトとハード共に重要である中では、特にこれからはソフトに注力していく必要があると考えております。
朝見委員	特に地域団体の講座が増えるような取組を、支援されると良いかと思います。
伊藤部会長	老朽化施設の今後のあり方を検討すると記載があり、説明をすることは理解できますが、１０年間の計画として途中で見直すにしても、あり方を検討するとの表現が総合計画の表現としてなじむのかと疑問に思います。老朽化した施設があれば、何らかの対応が必要となりますので、対応するとの方向性を出すことが総合計画の一つ役割ではないかと思います。あり方などの方向性だけでなく、次のアクションが入らないといけないのではないかと思います。 何かを決めつけることではなく、あり方を検討しなければどのような手段があるのかが分かりませんが、ただ何らかの対応をするとの問題意識であれば、対応するとの表現も必要かと思います。
企画部長	生涯学習に限らず、本市における施設の全体の考え方としては、建て直して集約することはなかなか難しい状況でございますので、比較的あるものを長寿命化していくことを進めています。表現の仕方はもう少し工夫できる部分か

	と思いますので検討させていただきます。
朝見委員	私は、渋川公民館の公民館利用者推進会議にも参加しております。渋川公民館は、市内で文化会館に次いで２番目に利用者の多い施設ですが、この指標にもある公民館の利用者数を増やすことについて、なぜ利用者が多いのか、また更に増やそうなどは会議で議論されず、参加している人たちはそのような目的で集まっていることを知らずに、毎年の会議を粛々とやっている状況です。
企画部長	公民館運営審議会という、まさに総合計画と同じ審議会のレベルの専門機関を設置しております。今まさに御発言がありましたとおり、どのように活用していくのか、そうしたところを議論していただけると良いかと思います。
朝見委員	なぜ渋川公民館が多いのかとか、どの年代が多いのかなど、特に議論もなく、この目標が末端にまで下りてくることは難しいかと思います。
企画課長	担当課にも共有させていただき、検討していきたいと思います。
伊藤部会長	他には、よろしいでしょうか。 それでは続きまして、２４ページ、２５ページの施策３－４「文化・スポーツの振興」について、御発言をお願いしたいと思いますが、いかがでしょうか。
荒谷委員	主な取組の３－４－４「スポーツ活動の環境整備」について、総合体育館が老朽化した施設かと思いますが、「体育館などの施設を適切に管理します」と書かれているだけです。施策３－３「生涯学び続ける教育の推進」の「主な取組」、３－３－２「生涯学習施設の環境整備」では、「安心、快適に利用できる環境を整備します」とあります。管理と整備は違うと思いますが、老朽化した施設をどのように管理していくのでしょうか。
企画課長	施策間の表現の違いについて、安心、快適に利用できる環境整備というと、一歩進んだ表現になっていて、スポーツ施設の方は、施設を適切に管理しますと事故が起きないように最低限の施設の維持管理をしていくと読める部分もあるかと思います。体育施設としては総合体育館のほか、市民プールやテニスコートなどの様々な施設がある中で、適切に管理しますとの言い方が、先ほどの企画部長の発言にもありましたが、市の施設は長寿命化をすることが一つの方向性でございますので、施設関係の主な取組について横並びで見て、この表現がどのようなレベルが良いのか、

	適切であるのかを確認、検討したいと思います。
朝見委員	第１回の時に、市への愛着や誇りなどが議論になりましたが、尾張旭市を好きな人を増やしていくことが、幸せと笑顔につながると思いますが、基本目標の３、４、６以外の部分に出てくるのでしょうか。
企画課長	施策３－４の「主な取組」の３－４－１「文化財の保護・継承・保存」が該当する部分であることと、他にも基本目標５「人とふれあい安心して暮らすまち」ですとか、基本目標８「未来につながる行政経営」などに、市への愛着や誇りを醸成することが含まれると考えています。
朝見委員	文化財の保護になっていますが、維持していくだけでは足りないから、愛着や誇りが増えていかないとするのであれば、支援とか広がるような意味の言葉が入っていた方が、文化財の保護が活発になり広がると思います。守るだけだと、今と変化がないことになります。
企画課長	もう少し、発展的な表現となるよう検討したいと思います。
政策企画係長	この部分について、担当課からは、コロナウイルスの影響もあり、担い手不足が顕著に出ている分野と聞いています。私の地元でも、棒の手が２年間やらなかったことによって、子どもたちがいなくなってしまっていますので、まずは保存というところが、表に出てしまったのでないかと思います。朝見委員の御発言はもっともな事で、これから楽しく文化財を保存していくことを考えると、そのような視点での御指摘はありがたいと思います。
企画部長	まさに、ここの部分は郷土愛を考えるため、文化・歴史をしっかりと次世代に継承していくことが必要だと思います。単に継承するだけでなく、市として支援するなどのニュアンスが入ってくると良いかと思いますので、書き方や見せ方を検討いたします。
鈴木委員	先ほどの荒谷委員のやりとりを聞いて、私が勘違いしていたことに気が付きましたが、３－４－４「スポーツ活動の環境整備」について、多くの市民が利用できるスポーツ活動の環境を整えるため、体育館などの施設を適切に管理しますと書かれており、勝手に、普段、小中学校の体育館がもっと使えると良いと思っていましたが、そのような利用しやすい整備ではなく、総合体育館などの単にハードの環境整備だけの話であったので、少しがっかりしたところです。特に小学校の部活動が終わり、バスケットボールを

	やりたい子どもたちの場所がないので、使いやすいようにしてもらえると良いと、常々思っていました。
企画課長	学校施設の開放といった部分は、まさに「主な取組」の４つ目のスポーツ施設の環境整備の中に取り入れていくようなものになるかと思います。
朝見委員	管理と利用促進の言葉を残してほしいかと問われれば、ここでは利用促進を残してほしいと思います。 職場で尾張旭市に来たことがある人はいますかと聞くとほとんどいませんが、体育館を利用する人に聞くと結構来たことある人がいますので、そのようなところは結構大事かと思います。
鈴木委員	各地の文化会館やホールを利用している人から、尾張旭市の文化会館はルールが厳しすぎてすごく使いづらかったので、もう使いたくないと聞いたことがあります。現在は、運営を民営化等されたため、変わっているのかもしれませんので、使いやすさなどをアピールした方が良いかと思います。
企画課長	指定管理者制度を導入し、施設が新しくなったこともありますので、是非御利用いただければと思います。
荒谷委員	小学校の体育館は、一般に貸し出ししていると思いますが、なかなか制限が厳しくて、確保できないと聞いたことがありますので、その辺りも寛大にやってほしいと思います。
伊藤部会長	他は、よろしいでしょうか。 それでは、施策３－１から３－４まで御意見をいただきまして、これで基本目標３の各施策について御意見をいただきました。 続きまして、資料８基本構想の５ページ基本目標３、先ほど企画課から読み上げてもらいましたが、この内容についてお気づきの点があれば御意見等を賜りたいと思います。 先ほどの御意見を踏まえまして、施策の内容を少し見直していくと思いますので、その辺を踏まえて、改めてこの基本目標３は見ていただくことにしたいと思いますが、いかがでしょうか。
	（意見なし）
伊藤部会長	特に御意見等はないようですので、先に進めたいと思います。
企画課長	ここで、企画課から確認をさせていただきます。

	本日、皆様に予定していただいておりました時間がほぼ来ております。 ２つの方法がありまして、もし皆様がよろしければ本日会議を延長する方法と、もう１つは２回目の会議が、基本目標４と６と基本構想となり、本日よりも更にボリュームがあるため、少し長めの時間を設定させていただくことも考えております。この場で皆様に御相談させていただければと思います。
伊藤部会長	次回、８月１日の午前１０時からになっておりますが、いかがでしょうか。
政策企画係長	例えばですが、９時半から始めさせていただいて、途中休憩を挟みながら、正午までとしてはいかがでしょうか。
伊藤部会長	まず１つは、８月１日の第２回部会の開始時間午前１０時を９時半にするという案です。
政策企画係長	少し時間が長くなってしまいますので皆様の御負担もありますが、いかがでしょうか。
伊藤部会長	皆様よろしいようですが、杉本委員の確認はいかがでしょうか。
政策企画係長	杉本委員からは、すでに８月１日は欠席と伺っております。
伊藤部会長	それでは、８月１日は９時半開始とします。
伊藤部会長	杉本委員には、本日の部分を含めて御意見を聞いていただいて、部会にフィードバックしていただきたいと思います。
政策企画係長	次回は８月１日となっておりまして、その次８月２５日は、次の全体会に向けて部会での意見を最終的に取りまとめるところに取り掛かりたいと思っております。もし８月１日で内容が全て終わらないということになりますと、追加の開催を検討させていただきたいと思います。皆様に御協力いただかなければならないところになりますが、また御相談させてください。
伊藤部会長	まずは８月１日の部会を開催して、その状況を踏まえてということでよろしいでしょうか。 次回は、８月１日の午前９時半からとさせていただきます。 今の最後の部分は、次第の３に入ってしまっていましたので、次回の日程について、企画課からあらためて次第の３その他の事項として、御説明をお願いします。
企画課長	次回の部会は、８月１日の火曜日、時間は午前９時３０

	分から市役所２階２０３会議室で開催します。本日と会場が変わりますので、よろしくお願いします。 　予定の議題としましては、基本目標４、基本目標６、そして基本構想について、審議をお願いしたいと考えております。 　大変お忙しい中、長時間の審議になることが予想されますが、よろしくお願いします。 　次に連絡事項でございます。 　皆様に調査審議していただいている総合計画についてパブリックコメントを実施し、市民の皆様から広く意見を募集してまいります。期日は、今月７月２０日から８月１８日の金曜日までの３０日間でございます。市のホームページや主な公共施設などに、素案を設置し、市民の皆様、事業者の皆様から広く御意見を募ってまいります。 　本日、机の上に参考資料１０を置かせていただいております。こちらは、市ホームページなどに公表してまいりますパブリックコメントで使う素案でございます。すでに皆様にお配りしております基本構想、施策別指針は省略しておりますが、計画の前段部分になります資料を机に置かせていただいておりますので、こちらも御参考にしていただければと思います。 　内容は主に、３月に開催しました第１回総合計画審議会の全体会で御説明した内容が、御手元の参考資料１０ということでございます。 　事務局からは、以上でございます。
伊藤部会長	ありがとうございました。ただいまの事務局からの説明に対しまして、委員の皆様から何か御質問等はありますでしょうか。
	（意見なし）
伊藤部会長	よろしいでしょうか。その他、委員の皆様から御発言はありますでしょうか。
	（意見なし）
伊藤部会長	事務局から何かありますでしょうか。
企画部長	本日は皆様、長時間にわたり慎重に審議していただき、また活発な御意見をいただきましてありがとうございます。 　次回会議は、２０３会議室市役所２階にございますので、どうか御間違いのないようお願いいたします。 　それでは、次回以降もよろしくお願いいたします。本日

	は、ありがとうございました。
伊藤部会長	以上を持ちまして、部会を閉じたいと思います。本日は、本当に積極的な御発言をいただきまして、どうもありがとうございました。また次回も引き続き、よろしくお願いいたします。